第　16　号
金沢商業高校図書館だより
平成25年5月11日（土）

木蓮（もくれん）

旧図書館の中庭に、地球上最古の花木といわれている木蓮の木がありました。歴史ある金商高校に学ぶみなさんが、心も知識も大きく美しく成長することを願って、図書館だより「木蓮（もくれん）」をお届けします。

六日の菖蒲

５月５日の端午の節句につきものは「菖蒲」でしょう。混同して「しょうぶ」とも「あやめ」とも読ませますが、この２つは植物学上の分類は別で、ショウブがサトイモ科なのに対してアヤメはアヤメ科に属します。

「夕月のさらさら雨や菖蒲（あやめ）ふく」「湯上りのしりにべったり菖蒲（しょうぶ）かな」はいずれも小林一茶の句です。中国の民俗信仰から、わが国でも菖蒲を軒に葺き、菖蒲湯に入る風習が行われてきました。その菖蒲が５月６日に手に入ったのでは間に合わないところから、手遅れになることを「六日の菖蒲（あやめ）」といいます。

金商生の「今知りたい」「今読みたい」気持ちが「六日の菖蒲」にならないよう、図書館では学ぶ意欲・読書意欲を支えていくつもりです。みなさんも新学期が始まったばかりだとのんびりせず、手遅れにならないよう今から準備を整えましょう。

関連図書：『四季ことわざ辞典』槌田満文著　東京堂出版

新着雑誌

『月刊ニュースがわかる』



●１カ月のニュースをまとめて解説する情報誌。難しいニュースをやさしく解説

図書委員がすすめる 読んで得するテッパン本

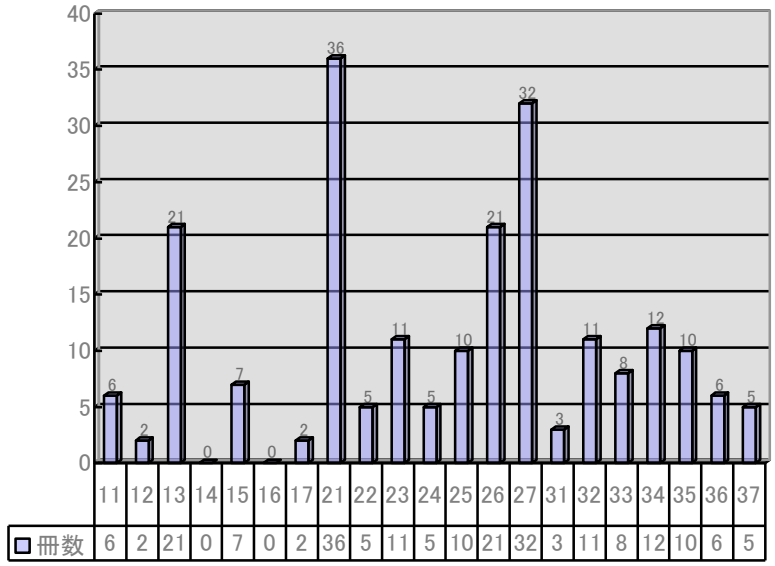
『夢をかなえるゾウ』　水野敬也著

ダメダメなサラリーマンの前に突然現れた神様“ガネーシャ”。成功するために教えられたことは「靴をみがく」とか「コンビニで募金する」とか地味なものばかりだった。「笑って」「泣けて」「ためになる」本です。今までこういった本を読んでも何も変わらなかった！という人ほど読んでほしい一冊です。　（31H 北川）

『医学の卵』　海堂尊著

ひょんなことから「日本一の天才少年」となり、大学の医学部で医学の研究をすることになった「薫」。まだ中学生の薫が医学の世界を体験するうちに沢山の人と出会います。作者は中学生向きに書いたようですが、高校生や大人が読んでも気持ちが熱くなってくるのを感じます。特にラストでの父の格好良さと息子のたくましさ、そして医学に真剣に取り組んでいる人の真摯さに感動します。現実逃避したい時にも読んでみるといいです。
（31H 村田）

図書館利用統計【4月8日~4月30日】



４月の図書貸し出し総数は 213 冊でした。開館日数は 15 日で、１日平均にすると約 14.2 冊の貸し出しです。学年別では３年生が 55 冊、２年生が 120 冊で、１年生は 38 冊でした。入館者の総数は 1,225 人で、１日平均約 82 人の利用でした。授業での学習室利用は 12 時間ありました。午前中は太陽の光が差し込む明るく開放的な図書館です。教室からのアクセスも以前よりぐっと良くなりました。

一度、図書館に足を運んでみて下さい。

ありがとう

図書の寄贈がありました！

＊㈱川村様より

『北国新聞縮刷版１月号』

社長の河村様をはじめ社員の皆様の約半数が金商の卒業生という会社からの寄贈です。感謝して利用させていただきましょう。

おしらせ

図書利用カードが変わりました。身分証明書の裏側に図書利用のバーコードが貼ってあります。貸し出しの際は身分証明書を持参して下さい。なお２・３年生のみなさんが使っていた昨年までの利用者カードも利用可能です。